

## 1 大会概要（出典：東京 2020 大会ガイドブック）

### (1) 大会スケジュール等

- ① **オリンピック** R2(2020)年 7 月 24 日（金）～8 月 9 日（日）、33 競技
- ② **パラリンピック** R2(2020)年 8 月 25 日（火）～9 月 6 日（日）、22 競技

### (2) 復興五輪

スポーツの力で被災地に元気と感動を届ける。そして、様々な困難を乗り越え、復興へと歩む被災地の姿を世界に発信し、支援していただいた人々に感謝を伝えていく。

## 2 本県の取組の目指すところ

- 復興支援への感謝を伝えるとともに、復興の今の姿を発信
- たくさんの県民とオリンピック・パラリンピックの価値を共有
- 海外との人的・文化的交流の活性化による地域振興



## 3 令和元年度の主な取組実績

### <復興の火、聖火リレー、聖火フェスティバル>

- (1) **復興の火**：「三陸鉄道」、「S L 銀河」の車両を活用した展示イベント（宮古、陸中山田、大槌、釜石、上有住、遠野、花巻駅）大船渡市内での展示イベントを実施（R2.3.22～23）
- (2) **オリンピック聖火リレー**：県内聖火リレー詳細ルート公表、聖火リレーランナー（県実行委分）の一部公表
- (3) **パラリンピック聖火フェスティバル**：実施市町村の決定・公表



### <ホストタウン、事前キャンプ>

- (1) **ホストタウン：19 市町村が登録**（平成 30 年度末から 7 市町増加）
  - ホストタウン：盛岡市、遠野市、八幡平市、紫波町、宮古市、西和賀町、一戸町、岩手町、
  - 復興「ありがとう」ホストタウン：大船渡市、花巻市、陸前高田市、釜石市、野田村、宮古市、雫石町、山田町、久慈市、大槌町、二戸市、矢巾町
  - 共生社会ホストタウン：遠野市
- (2) **事前キャンプ：6 市町**（平成 30 年度末から 2 町増加）
  - 花巻市 日本代表（ボート）田瀬湖ボートコース
  - 盛岡市 カナダ代表（水球）盛岡市立総合プール、カナダ代表（7 人制ラグビー）盛岡南公園球技場、マリ代表（柔道）盛岡市立武道館
  - 八幡平市 ルワンダ代表（陸上、自転車、ビーチバレーボール）八幡平市内一般道、葛巻町総合運動公園、洋野町種市漁港海浜公園
  - 遠野市 ブラジル代表（視覚障害者 5 人制サッカー）国体記念公園市民サッカー場
  - 岩手町 アイルランド代表（女子ホッケー）岩手町ホッケー場 ※R2.2 覚書締結予定
  - 紫波町 カナダ代表（男子バレーボール）オガールアリーナ ※R2.1 内定



### <機運醸成、復興五輪を具現化するための取組>

- (1) 旧国立競技場炬火台の常設・巡回展示（R 元.5.21～7.14）
- (2) 「いわてスポーツフェスタ Go for 2020」の開催（R 元.7.27～28）
- (3) オリンピックデー・フェスタの開催（R 元.6.15～8.4） ※JOC 主催
- (4) 在京海外メディアによる被災地取材ツアーの実施（R 元.8.18～19） ※東京都主催
- (5) 復興のモニュメント制作に向けたワークショップの実施（R 元.8.22） ※組織委主催など



## 4 令和 2 年度の主な取組内容

### <聖火リレー、聖火フェスティバル>

- 市町村や関係機関と連携し、安心・確実な運営を実施
- (1) **オリンピック聖火リレー（R2.6.17～19）**：県内 28 市町村で実施  
出発式、ミニセレブレーション、セレブレーションにおける郷土芸能等の披露、沿道装飾の実施
- (2) **パラリンピック聖火フェスティバル（R2.8.13～17）**：県内 33 市町村で採火、盛岡市内で集火  
パラリンピックの理念である「共生社会の実現」に向けた取組を実施

### <ホストタウン、事前キャンプ>

- (1) **ホストタウン登録・事前キャンプ誘致支援、大会終了後も見据えた交流事業の企画・実施の支援**
  - パブリックビューイング・応援ツアーの実施、相手国・地域の選手等と地域住民との交流など
- (2) **いわてスポーツコミッションと連携した事前キャンプの円滑な受け入れの支援**
  - 市町村・大学との施設の利用調整、キャンプ地周辺の観光・食など情報提供など

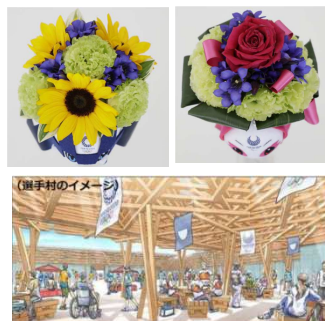
### <機運醸成、復興五輪を具現化するための取組>

- 国、市町村、組織委員会や東京都等と連携して関係事業を切れ目なく展開
- (1) **国と連携した取組**
  - 海外メディアを対象とした復興五輪ツアーの実施 ※経産省主催
- (2) **市町村と連携した取組**
  - 市町村実施イベントへのオリンピック・パラリンピアン等の派遣（随時）※JOC 連携
  - 地域経営推進費（市町村事業）による機運醸成事業等への支援
- (3) **組織委、東京都と連携した取組**
  - 復興をテーマとした大会公式の文化プログラムへの参画及び併催イベントの実施※組織委主催
  - 復興祈念植樹の実施(大会前・大会後、有明アリーナ) ※東京都主催
  - 復興のモニュメントの設置(大会前:競技関連施設、大会後:県内) ※組織委、東京都主催
  - 被災地 東京 2020 ライブサイトの実施 ※東京都主催
  - 被災地子ども観戦招待 ※東京都主催
  - 東京 2020 みんなのエスコートキッズプロジェクト（サッカー、宮城スタジアム）※組織委主催
- (4) **復興五輪のレガシー継承**
  - 復興五輪フォーラム、東京 2020 オリパラ報告会の開催

## 5 東京 2020 大会を契機とした取組

### (1) 県産農林水産物の生産管理技術の高度化、国内外への魅力発信

- 岩手県版 G A P の創設や G A P 指導体制強化により、生産者の G A P の取組を推進
- メダリストに授与するビクトリーブーケに本県産「りんどう」の採用が決定
- 東京 2020 大会へ提供可能な食材を県 H P で紹介
- 選手村ビレッジプラザに県産木材製品を提供



### (2) 地域の魅力発信

- 伝統的工芸品等のライセンス商品化への支援（南部鉄器 17 件：急須、鉄瓶、瓶敷、風鈴）
- 2020 東北・新潟の情報発信拠点事業「東北ハウス」を中心に観光・復興情報等を発信（R2.7.18～8.9、高輪ゲートウェイ駅等）



### (3) beyond2020 マイベストプログラムへの参画

- 「希望郷いわて 元気・体力アップ 60 運動」を認証申請

## 6 今後の主な予定

- R2.3.22～23 復興の火展示イベント（県内）
- R2.3.26 オリンピック聖火リレーグランドスタート（福島県）
- R2.5.9 東京 2020 NIPPON フェスティバル(陸前高田市)
- R2.6.17～19 オリンピック聖火リレー（県内）
- R2.8.1～4 被災地 東京 2020 ライブサイト（盛岡城跡公園多目的広場）
- R2.8.13～17 パラリンピック聖火フェスティバル（県内）
- R2.8.29～30 被災地 東京 2020 ライブサイト（J R 盛岡駅前滝の広場）

